

耳鼻咽喉科学

教授	渡辺行雄
助教授	麻生伸
助教授	中川肇
	(学内併任・医療情報部)
講師	將積日出夫
講師	浅井正嗣
助手(前)	伊東宗治
助手(前)	五十嵐良和
助手	赤荻勝一
助手(前)	山本森弘
助手	木村宏寛
助手	伏木彰彰
助手(前)	藤坂実千郎
助手	島岳彦
助手(前)	清水勝利
助手(前)	高田訓
助手(前)	長崎正男
助手	本島ひとみ
文部技官	武田精一

◆ 著 書

- 1) 渡辺行雄：ENGで何がわかるか。耳鼻咽喉科・頭頸部外科クリニックニカルトレンド,130-132.中山書店,東京.
- 2) 渡辺行雄：めまいの保存的治療.第13回日本平衡神経科学会医師講習会テキスト,1996,47-51.

◆ 原 著

- 1) Watanabe Y. and Takeda S.: Computerized Electro-nystagmography. Acta Oto-Laryngologica Suppl 522:26-31,1996.
- 2) Nakagawa H., Ohashi N., Omira A., Watanabe Y., Teranishi H. and Keyaki Y.: Clinical Manifestations of Japanese cedar pollinosis :an epidemiological study. Rhinology,34:201-205,1996.
- 3) 中川肇、清水勝利、渡辺行雄、古瀬正浩、袋谷賢吉：身体動揺に及ぼす視覚外乱の影響について. 信学技報 MBE96-18:121-126,1996.
- 4) Kimura H., Ohashi N., Aso S. and Watanabe Y.: Clinical study of the role of melanocytes in the inner ear of patients with Harada's disease. ORL 58, 233-237, 1996.
- 5) Fujisaka M., Ohtani O., and Watanabe Y. : Distribution of Lymphatics in Human Palatine Tonsils:A Study by Enzyme-Histochemistry and Scanning Electron Microscopy of Lymphatic

Corrosion Casts. Arch.Histol. Cytol, 59 : 273-280, 1996.

- 6) 渡辺行雄、浅井正嗣、伊東宗治：メニエール病および遅発性内リンパ水腫の平衡機能障害. JOHNS(12):1609-1612,1996.
- 7) 水越鉄理、將積日出夫、渡辺行雄：メニエール病の疫学. JOHNS(12):1585-1589,1996.
- 8) 麻生伸、渡辺行雄、水越鉄理：内リンパ水腫における両耳の聴力変動. Audiology Jpn 39, 164-170, 1996.
- 9) 將積日出夫、渡辺行雄、伊東宗治、安村佐都紀、赤荻勝一、藤坂実千郎、長崎正男、本島ひとみ：メニエール病確実例の有病率調査に関する研究—新潟県西頸城地区での調査—. Equilibrium Res. 55:314-320,1996.
- 10) 將積日出夫、長崎正男、安村佐都紀、張瑞麗、赤荻勝一、伊東宗治、渡辺行雄：音刺激による胸鎖乳突筋誘発筋電図の検討. Equilibrium Res.55:538-544, 1996.
- 11) 伊東宗治、將積日出夫、渡辺行雄、水越鉄理、神田憲一、大村明彦：検査時期による眼振所見の変化. Equilibrium Research 55, 425-429,1996.
- 12) 島岳彦、將積日出夫、渡辺行雄、小林英人：経皮的気管穿刺針抜去後声門下狭窄の1例.耳鼻咽喉科・頭頸部外科,68(12):1006-1008,1996

◆ 総 説

- 1) 渡辺行雄、伊東宗治、將積日出夫：VOR検査とその臨床的意義—フロセミドVOR検査を中心に—. 神経眼科第13巻第3号,269-274.
- 2) 麻生伸：高度難聴の治療と人工内耳. 日本医事新報 3792, 23-28, 1996.

◆ 症例報告

- 1) Nakagawa H., Mizukami Y., Kimura H., Watanabe Y. and Kuwayama N.: Metastatic masseter muscle tumor:a report of a case. J.Laryngol Otol. 110:172-174,1996.
- 2) Kimura H., Aso S., Asai M., Nakagawa H. and Watanabe Y.: Magnetic resonance imaging of an inhaled peanut. Ann Oto Rhino Laryngol. 105:574-576,1996.
- 3) 古瀬忍、水島豊、蓑毅峰、吉田良昌、中川肇、麻生伸、若木邦彦、小林正：CDPPと5-FUの併用化学療法が肺転移病巣に奏効した耳下腺癌の一例. 癌と化学療法 23:1059-1062,1996.

◆ 学会報告

- 1) 渡辺行雄：耳石眼反射周波数特性の計測法.第8回宇宙医学シンポジウム,1996,2,名古屋.

- 2) 麻生 伸, 渡辺行雄, 將積日出夫, 大井秀哉, 伊東宗治: メニエール病診断基準の検討. 厚生省特定疾患前庭機能異常研究班, 平成7年度総会, 1996.2, 東京.
- 3) 將積日出夫, 渡辺行雄, 赤荻勝一, 伊東宗治, 安村佐都紀, 藤坂実千郎, 本島ひとみ, 長崎正男: メニエール病確実例の有病率に関する調査研究(続報). 厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成7年度総会, 1996,2, 東京.
- 4) 中川 肇, 伏木宏彰, 本島ひとみ, 渡辺行雄: 比較的高齢で発症したメニエール病の臨床的特徴について. 厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成7年度班会議, 1996,2, 東京.
- 5) 藤坂実千郎, 大谷 修, 渡辺行雄: ヒト口蓋扁桃のリンパ管分布. 第17回富山免疫アレルギー研究会, 1996, 2, 富山.
- 6) 渡辺行雄, 武田精一, 舘 克代: 実用機としてのComputerized ENGの実際. 第12回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1996,3, 伊勢原市.
- 7) 武田精一, 渡辺行雄: WindowsNT Serverによる教室内LANの構築. 第12回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1996,3, 伊勢原市.
- 8) Fushiki, H., Barmack, N.H. and Grigorian, R. Activity of Purkinje cells of the archicerebellum parasagittal zones on natural stimulation of the vestibular apparatus. *Internat. Meeting on Evolutionary Physiology*, 11:253-254, 1996, 4, St. Petersburg, Russia.
- 9) 將積日出夫, 伊東宗治, 赤荻勝一, 長崎正男, 張瑞麗, 渡辺行雄: 回転刺激の視運動性後眼振への影響について. 第7回後眼振研究会, 1996, 4, 富山.
- 10) 將積日出夫, 赤荻勝一, 長崎正男, 伊東宗治, 渡辺行雄, 藤坂実千郎, 本島ひとみ, 安村佐都紀: 地域別調査によるメニエール病確実例有病率調査結果. 第26回富山県地方部会, 1996,4, 富山.
- 11) 五十嵐良和: メテナミン銀染色法による内耳前庭複合糖質の観察. 第26回日耳鼻富山県地方部会, 1996,4, 富山.
- 12) 高田 訓, 麻生 伸, 渡辺行雄, 清水勝利, 安村佐都紀: 前頭洞の骨破壊を呈した鼻腔inverted apilloma の一例. 第26回富山県地方部会, 1996,4, 富山.
- 13) 水上裕紀子, 麻生 伸, 藤坂実千郎, 渡辺行雄: 側頭窩に膿瘍を形成した歯根嚢胞の一例. 第26回富山県地方部会, 1996,4, 富山.
- 14) 本島ひとみ, 浅井正嗣, 渡辺行雄: 甲状軟骨形態異常の一例. 第26回日耳鼻富山県地方部会, 1996,4, 富山.
- 15) 五十嵐良和, 大屋美香, 麻生 伸, 渡辺行雄: Baxter Infuserを用い5-FU持続動注とCBDCA動注を施行した上顎癌の一症例. 第15回北陸頭頸部腫瘍研究会, 1996,4, 金沢.
- 16) 長崎正男, 中川 肇, 渡辺行雄, 安村佐都紀, 原佑郁, 小山信二, 杉山茂樹: 縦隔へ達したガス産生を伴った深頸部感染症の一例. 第6回北陸耳鼻咽喉科感染症研究会, 1996,4, 金沢.
- 17) Fushiki, H., Ericco, P., Barmack, N.H. and Pettorossi V.E. The influence of cerebellar nodulus on the spatial orientation of optokinetic nystagmus during static tilt in the rabbit. *Vestibular Adaptation*, 1996, 5, Santa Monica, U.S.A.
- 18) 渡辺行雄, 武田精一, 中川 肇, 將積日出夫, 舘 克代, 宮島 達: 実用機としてのComputerized ENGの実際. 第97回日本耳鼻咽喉科学会, 1996,5, 福岡.
- 19) 水越鉄理, 麻生 伸, 將積日出夫, 渡辺行雄: 両側左右交代性変動難聴性メニエール病の特徴と病態. 第97回日本耳鼻咽喉科学会, 1996, 5, 福岡.
- 20) 麻生 伸, 安村佐都紀, 浅井正嗣, 將積日出夫, 渡辺行雄: BPPVに対するEpley法の治療効果. 第97回日本耳鼻咽喉科学会, 1996, 5, 福岡.
- 21) 將積日出夫, 渡辺行雄, 長崎正男, 安村佐都紀, 伊東宗治, 赤荻勝一: 音刺激による前庭頸反射の検討. 第97回日本耳鼻咽喉科学会, 1996,5, 福岡.
- 22) 浅井正嗣, 渡辺行雄: 動的刺戟負荷に対する身体動揺反応とその臨床的意義. 第97回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1996,5, 福岡.
- 23) 高田 訓, 浅井正嗣, 將積日出夫, 中川 肇, 清水勝利, 渡辺行雄, 水越鉄理: 新潟水俣病症例の重心動揺検査所見—アキレス腱部振動刺激付加の影響を中心に—. 第97回日本耳鼻咽喉科学会, 1996,5, 福岡.
- 24) 中川 肇, 渡辺行雄, 古瀬正浩, 袋谷賢吉: 視覚外乱と姿勢制御. 電子情報通信学会 MEとバイオサイバネテックス研究会 1996,6, 富山.
- 25) 將積日出夫, 長崎正男, 安村佐都紀, 赤荻勝一, 伊東宗治, 渡辺行雄: 音刺激による前庭性頸部筋原性反応の検討. 第273回北陸地方部会連合会, 1996,6, 金沢.
- 26) 水上裕紀子, 大屋美香, 五十嵐良和, 伊東宗治, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 齊藤明宏: 顔面に発生したadenocarcinomaの治療経験. 第273回北陸地方部会連合会, 1996,6, 金沢.
- 27) 五十嵐良和, 大屋美香, 將積日出夫, 浅井正嗣,

- 中川 肇,麻生 伸,渡辺行雄:動注療法におけるバルーンタイプインフューザーの使用.第20回頭頸部腫瘍学会,1996, 6,福井.
- 28) 本島ひとみ,麻生 伸,渡辺行雄:頭頸部外傷後に発症した顔面神経麻痺症例.第19回日本顔面神経研究会,1996,6,東京.
- 29) 山本森弘,麻生 伸,本島ひとみ,渡辺行雄:咬筋内血管腫の一例.第58回日本耳鼻咽喉科臨床学会,1996,6,名古屋.
- 30) 本島ひとみ,五十嵐良和,渡辺行雄,岡田英吉:鼻側部血管平滑筋腫に対する血管造影及び塞栓術の施行経験.第58回日本耳鼻咽喉科臨床学会,1996,6,名古屋.
- 31) 中川肇,伊東宗治,伏木宏彰,赤荻勝一,清水勝一:高齢発症のメニエール病について(第3報).第7回耳鼻咽喉科と老化の研究会,1996,7,東京.
- 32) 將積日出夫,赤荻勝一,伊東宗治,本島ひとみ,藤坂実千郎,長崎正男,安村佐都紀,渡辺行雄:メニエール病確実例の地区別有病率調査結果.第44回日耳鼻中部地方連合会,1996, 7,三重.
- 33) 藤坂実千郎,將積日出夫,麻生 伸,渡辺行雄:咽頭異常感を主訴とした内頸動脈蛇行症の4例.第44回中部地方部会連合会, 1996, 7, 三重.
- 34) Watanabe Y., Asai M., Mizukoshi K: Posture control in cases with methylmercury poisoning (Minamata disease) in Niigata.19th Barany Society Meeting, 1996. 8, Sydney.
- 35) Mizukoshi K., Aso S., Shojaku H., Watanabe Y.: Bilateral Meniere's disease with alternate see-saw like fluctuating hearing impairments. 19th Barany Society Meeting, 1996. 8, Sydney.
- 36) Aso S., Fujisaka M., Shojaku H., Watanabe Y.: Electrocochleographic findings in delayed endolymphatic hydrops. 19th Barany Society Meeting, 1996.8, Sydney.
- 37) Nakagawa H., Larsen HC., Watanabe Y., Anniko M.: Visual disorientation in patients with vertigo. 19th Barany Society Meeting, 1996. 8, Sydney.
- 38) Shojaku H., Nagasaki M., Yasumura S., K Akaogi, Ito M., Asai M., Watanabe Y.: Click-evoked myogenic potential among dizzy patients. 19th Barany Society Meeting, 1996. 8, Sydney.
- 39) Asai M., Watanabe Y.: Postural responses to backward translations in patients with unilateral vestibular disorders. 19th Barany Society Meeting, 1996. 8, Sydney.
- 40) Shojaku H., Akaogi K., Watanabe Y: Effects of visual-vestibular interaction on afternystagmus in humans.8th ANSG, 1996. 8, Sydney.
- 41) 中川 肇,渡辺行雄,浅井正嗣,古瀬正浩,袋谷賢吉:身体動揺と視覚について.第274回日耳鼻北陸地方部会連合会,1996,9,福井.
- 42) 浅井正嗣,赤荻勝一,本島ひとみ,水上裕紀子,藤坂実千郎,山本森弘,伊東宗治,渡辺行雄:KTPレーザーによる小児声門下狭窄の治療経験.第274回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1996,9,福井.
- 43) 藤坂実千郎,大谷 修,渡辺行雄:ヒト口蓋扁桃のリンパ管分布.第9回日本口腔・咽頭学会,1996, 9,沖繩.
- 44) 水上裕紀子,麻生 伸,藤坂実千郎,渡辺行雄:歯根嚢胞に続発した側頭窩膿瘍の一例.第9回日本口腔・咽頭学会, 1996, 9,沖繩.
- 45) 武田精一,麻生 伸,渡辺行雄:聴性誘発反応のコンピュータ処理.第41回日本聴覚医学会,1996, 10,京都.
- 46) 藤坂実千郎,麻生 伸,渡辺行雄:一側高度感音難聴症例における遅発性内リンパ水腫の発症.第41回日本聴覚医学会,1996,10,京都.
- 47) 麻生 伸,山本森弘,木村 寛,藤坂実千郎,十二町真樹子,渡辺行雄:内リンパ水腫疾患における蝸電図データの分析.第41回日本聴覚医学会, 1996,10, 京都.
- 48) 木村 寛,麻生 伸,渡辺行雄:リドカイン静注と対側耳マスキング負荷による誘発耳音響放射の変化.第41回日本聴覚医学会,1996, 10,京都.
- 49) 浅井正嗣,清水勝利,渡辺行雄:前庭障害患者の直立安定性と姿勢制御方法.第17回バイオメカニズム学術講演会,1996,10,富山.
- 50) 渡辺行雄,將積日出夫,島 岳彦,稲葉博司,安村佐都紀:耳鼻咽喉科領域の漢方治療支援システムの構築(予報), 1996,10,仙台.
- 51) Fushiki, H. and Barmack, N.H. Simple spike activity modulated by vestibularly-evoked climbing fiber responses in the rabbit cerebellar nodulus. 26th Ann. Meet. of Neurosci., 22:1091, 1996, 11, Washington, D.C., U.S.A.
- 52) 渡辺行雄,將積日出夫,浅井正嗣,安村佐都紀:平衡神経科領域におけるアナログ情報処理のためのコンピュータシステムの実際.第55回日本平衡神経科学会,1996,11, 京都.
- 53) 麻生 伸,渡辺行雄:メニエール病の診断における内リンパ水腫推定検査の役割.第55回日本平

- 衡神経科学会, 1996,11, 京都.
- 54) 中川 肇,渡辺行雄,Larsen HC.,Anniko M. : めまい疾患と自覚的視性垂直位. 第55回日本平衡神経科学会. 1996,11,京都.
- 55) 將積日出夫,長崎正男,安村佐都紀,張瑞麗,赤荻勝一,伊東宗治,渡辺行雄: 音刺激によるヒト前庭性筋原性反応の検討—温度眼振反応との解離例の検討—.第55回日本平衡神経科学会,1996,11,京都.
- 56) 浅井正嗣,清水勝利,高倉大匡,渡辺行雄: 傾斜刺激負荷時の身体動揺.第55回日本平衡神経科学会,1996,11,京都.
- 57) 伊東宗治,將積日出夫,渡辺行雄,本島ひとみ,張瑞麗: 両側メニエール病に対するフロセミドVOR検査. 第55回日本平衡神経学会,1996,11, 京都.
- 58) 安村佐都紀,渡辺行雄,將積日出夫,張瑞麗,本島ひとみ,舘克代: 温度眼振反応中の前庭自律神経反射の検討(第3報).第55回日本平衡神経科学会, 1996,11, 京都.
- 59) 赤荻勝一,將積日出夫,本島ひとみ,長崎正男,安村佐都紀,張瑞麗,渡辺行雄: 地区別メニエール病確実例疫学調査.第55回日本平衡神経科学会, 1996,11,京都.
- 60) 伏木宏彰,佐藤 悠,石田正幸,渡辺行雄,川崎 匡: 視覚パターン移動刺激に対するネコ小脳片葉の登上線維反応. 第55回日本平衡神経科学会, 1996,11,京都.
- 61) 石田正幸, 北間敏弘, 佐藤 悠, 樂 宏革, 渡辺行雄, 川崎 匡: ネコの水平・垂直性視運動性眼振(OKN)と視運動性後眼振(OKAN) の解析. 第55回日本平衡神経科学会,1996,11,京都.
- 62) 北間敏弘, 石田正幸, 佐藤 悠, 樂 宏革, 渡辺行雄, 川崎 匡: ネコの視運動性眼振に対する頭部傾斜の効果. 第55回日本平衡神経科学会, 1996,11,京都.
- 63) 長崎正男, 將積日出夫, 安村佐都紀, 張瑞麗, 渡辺行雄: 音刺激による頸部ならび後耳介誘発筋原性反応の比較. 第55回日本平衡神経科学会, 1996,11,京都.
- 64) 伏木宏彰,渡辺行雄,川崎 匡: ウサギ視運動性後眼振に対する体位の影響. 第27回日耳鼻富山県地方部会,1996,11,富山.
- 65) 本島ひとみ,安村佐都紀,渡辺行雄: 嘔吐及び咳嗽後に広範な皮下・咽頭気腫を来した症例. 第27回日耳鼻富山県地方部会,1996,11,富山.
- 66) 大屋美香,十二町真樹子,麻生伸,渡辺行雄: 突発難聴で発見された類上皮腫の一例. 第27回日耳鼻富山県地方部会,1996,11,富山.
- 67) 高倉大匡, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 清水勝利: 一側前庭機能高度低下例の重心動揺検査による経過観察. 第55回日本平衡神経科学会, 1996, 11, 京都.
- 68) 安村佐都紀,渡辺行雄,將積日出夫,島 岳彦,稲葉博司: 耳鼻咽喉科領域の漢方支援システムの構築. 第7回北陸耳鼻咽喉科漢方研究会,1996,12, 金沢.
- 69) 木村 寛, 藤坂実千郎, 浅井正嗣, 麻生 伸, 渡辺行雄: いわゆるadult supraglottitis(成人声門上部炎) の臨床的検討. 第275回日耳鼻北陸地方部会連合会,1996,12,金沢.
- 70) 高倉大匡, 浅井正嗣, 清水勝利, 渡辺行雄: 重心動揺検査にて経過観察した一側前庭機能高度低下症例. 第275回日耳鼻北陸地方部会連合会, 1996,12, 金沢.
- 71) 渡辺行雄,武田精一,舘 克代: 実用機としてのComputerized ENGの実際.第11回耳鼻咽喉科情報処理研究会,1995,3,東京.
- 72) 渡辺行雄,武田精一: PC9800シリーズコンピュータからIBM PC/AT互換機への低レベルプログラムの移植. 第11回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1995,3,東京.
- 73) 渡辺行雄: 難治性めまい難聴疾患の対策.中越耳鼻科医会,1995,6,長岡市.
- 74) Watanabe Y.: A personal computer system for Equilibrium examination. 3rd Japanese-Sino Conference in Otolaryngology, Head and Neck Surgery,1995,10,Kanazawa, Japan.
- 75) 渡辺行雄: 両側前庭障害の疫学と臨床.第54回日本平衡神経科学会シンポジウム,1995,11,大阪.
- 76) 藤坂実千郎,大谷 修,渡辺行雄: ヒト口蓋扁桃のリンパ管分布.第24回日耳鼻富山県地方部会 1995,4,富山.
- 77) 藤坂実千郎,大谷 修,渡辺行雄: ヒト口蓋扁桃のリンパ管分布.第96回日本耳鼻咽喉科学会総会,1995,5,千葉.
- 78) Fujisaka M., Ohtani O., and Watanabe Y. : Lymphatic vessels in human palatine tonsils. International Symposium on Tonsils, 1995, 6, Sapporo.
- 79) 藤坂実千郎,麻生 伸,渡辺行雄: 遅発性内リンパ水腫の蝸電図.第40回日本聴覚医学会,1995,9, 東京.
- 80) 藤坂実千郎,麻生 伸,高倉大匡,本島ひとみ, 渡辺行雄: 眼窩尖端症候群を呈した蝶形骨洞真菌

症の一例. 第25回日耳鼻富山県地方部会, 1995,11,富山.

◆ その他

- 1) 渡辺行雄,麻生 伸,藤坂実千郎:遅発性内リンパ水腫、とくに対側型の検討. 厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成7年度報告書,31-32.
- 2) 渡辺行雄,將積日出夫,赤荻勝一,伊東宗治,安村佐都紀,藤坂実千郎,本島ひとみ,長崎正男:メニエール病確実例の有病率に関する調査研究(続報). 厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成7年度報告書,35-36.
- 3) 渡辺行雄,麻生 伸,將積日出夫,大井秀哉,伊東宗治:メニエール病診断基準の検討. 厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成7年度報告書,37-38.
- 4) 渡辺行雄,中川 肇,將積日出夫,伏木宏彰,本島ひとみ:比較的高齢で発症したメニエール病の臨床的特徴について厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成7年度報告書,39-40.
- 5) 渡辺行雄,水越鉄理,麻生 伸,將積日出夫,伊東宗治:左右交代性受動性メニエール病の病態. 厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班平成7年度報告書,41-42.
- 6) 渡辺行雄:難聴疾患とその対策.北日本カルチャーセンター,1996,7,富山.
- 7) 渡辺行雄:身体動揺検査法とその臨床的意義. 第2回広島県めまい研究会,1996,12,広島.
- 8) 麻生 伸:高度難聴と人工内耳について. 日本補聴器専門店協会補聴器セミナー,1996,8,富山.
- 9) 麻生 伸:難聴のメカニズムについて. 富山労働基準局労災補償業務担当職員研修会,1996,8,富山.
- 10) 麻生 伸:人工内耳の手術適応とその実際. 日本耳鼻咽喉科学会富山県地方部会第129回集談会, 1996,9,富山.
- 11) 麻生 伸,木村 寛,十二町真樹子,渡辺行雄:人工内耳の手術適応. 富山市医師会報308,9-12, 1996.

泌 尿 器 科 学

教 授	布 施 秀 樹
助 教	秋 元 晋
講 師(前)	風 間 泰 蔵
講 師(前)	酒 本 護 志
講 師	岩 崎 雅 志
講 師	奥 村 昌 央
助 手	木 村 仁 美
助 手	永 川 修 博
助 手	村 石 康 晋
助 手	釣 谷 靖 二
助 手	藤 内 靖 喜
助 手	十二町 明 子
文 部 技 官	池 原 葉 子

◆ 著 書

- 1) 布施秀樹:ミューラー管抑制物質。「Key Word 1997- 1998」齊藤 泰他編、220-221、先端医学社、東京、1996.
- 2) 布施秀樹:D. 人工精液瘤増設術ないし精巢上体精子の直接採取。「新しい生殖医療技術のガイドライン」日本不妊学会編、135-139、東京、1996.
- 3) 秋元 晋:前立腺分泌作用。「Key Word 1997- 1998」齊藤 泰他編、134-135、先端医学社、東京、1996.
- 4) 秋元 晋、古谷雄三:前立腺におけるオートクリン、パラクリンシステム。「Key Word 1997- 1998」齊藤 泰他編、116-117、先端医学社、東京、1996.

◆ 原 著

- 1) Fuse H., Muraishi Y., Fujishiro Y., and Katayama T.: Etoposide, epirubicin and carboplatin in hormone-refractory prostate cancer. Int. Urol. Nephrol., 28:79-85, 1996.
- 2) Fuse H., Okumura A., Sakamoto M., Ohta S, and Katayama T.: Laparoscopic varicocele ligation. Int. Urol. Nephrol., 28:91-97, 1996.
- 3) Fuse H., Akashi T., Kazama T., and Katayama T.: Gonadotropin therapy in males with hypogonadotropic hypogonadism: Factors affecting induction of spermatogenesis after gonadotropin replacement. Int. Urol. Nephrol., 28:367-374, 1996.
- 4) Fuse H., Fujiuchi Y., Junicho A., Iwasaki